

3 簡便型デジタルサイネージ、観光情報等提供モデルの提案

3.1 デジタルサイネージによる観光情報等提供モデルの必要性と価値

- (1) 観光事業は北海道の特性を生かしており内外からの認知度・期待度は高い。
- (2) 道内外の観光客に対する観光情報提供と、併せて、主として観光に関わる広告を掲載するデジタルサイネージにより、飲食業や物販業の振興も図ることができる。
- (3) 北海道の特色である観光とそれに付随する飲食・物販等の産業をデジタルサイネージの活用で活性化させることができれば、地域に根ざしたデジタルサイネージの使用モデルが構築でき、そのモデルを拡大して、デジタルサイネージ等のインフラの普及が期待できる。
- (4) 普及したインフラを活用すれば官民協働の広報・広告モデルが構築可能となり、産業振興や情報伝達の円滑化に加えて安心・安全社会の構築に資することが比較的容易に低投資で行える可能性がある。
- (5) デジタルサイネージは新規技術であり、その普及はデジタルサイネージに関係する ICT、広告、デザインなどの新規の産業振興に寄与する。

3.2 簡便型デジタルサイネージの必要性

本モデルを構築するためには、一般のデジタルサイネージでは情報提供者側に特別な ICT の知識や装置が必要になることが多い。

一方、観光情報等の提供モデルでの情報提供は商店や飲食店などの比較的小規模の企業であることが多いため、「簡便型」デジタルサイネージが必要とされる。

3.3 簡便型デジタルサイネージの提案

簡便型とは、広報、広告媒体として利用する際に特別な ICT の知識や装置を必要とせず、誰でも簡便に情報発信ができるデジタルサイネージのことである。

- (1) 情報提供者（特に個人、中小企業）が携帯電話・パソコンのメール機能、web のテンプレートにより情報の提供、更新が手軽にできるような簡便で比較的安価な双方向機能付きのデジタルサイネージ
- (2) ビジネス利用だけでなく、地域のニュース、行政情報の提供等地域で共同利用が可能となるようなデジタルサイネージ
- (3) 必要に応じてタッチパネル等による利用者側の操作や、おさいふケータイ機能付き携帯電話や QR コード等でのデータ授受が可能であるデジタルサイネージ